

JSL 漢字学習研究会誌 投稿規程

目次

1. 会誌の目的	- 2 -
2. 倫理方針	- 2 -
3. 投稿カテゴリー	- 2 -
表 1 投稿カテゴリー別の投稿規程内の主な参考項目	- 2 -
4. 投稿資格	- 3 -
5. 投稿論文	- 3 -
6. 論文投稿料	- 3 -
6. 1. 銀行口座	- 3 -
7. 投稿論文（査読あり）の査読プロセス	- 3 -
7. 1. 査読基準	- 3 -
7. 2. 査読における守秘義務	- 4 -
7. 3. 査読における査読者の利益相反	- 4 -
7. 4. 運営委員会（会誌担当）が論文（査読あり）を投稿する場合	- 4 -
8. 異議申し立て	- 4 -
9. エラータと撤回	- 4 -
10. 倫理違反の可能性がある場合の対応	- 5 -
11. 著作権、オープンアクセス	- 5 -
表 2 CC ライセンス	- 5 -
12. 原稿の投稿と執筆要領	- 6 -
12. 1. 原稿形式	- 6 -
12. 2. 投稿論文の原稿構成	- 6 -
12. 3. 要旨のみの原稿構成	- 8 -
12. 4. 原稿提出	- 9 -
表 3 投稿スケジュール	- 9 -
13. 問い合わせ先	- 9 -
14. 資料	- 10 -

JSL 漢字学習研究会誌 投稿規程

『JSL 漢字学習研究会誌』は JSL 漢字学習研究会が発行する学術誌で、原則として年 1 回、7 月に発行します。

JSL 漢字学習研究会では、主に第二言語あるいは外国語としての漢字学習・教育にかかわる研究を扱います。JSL 漢字学習研究会誌は、主に和文で記述され、第 17 号よりオープンアクセスジャーナルとなりました。さらに、第 17 号より、研究会開催の記録に加え、投稿論文の募集もしております。日本語の漢字学習を扱う幅広い研究者・実践者とともに、会誌を通じた交流が図れることを願っています。

1. 会誌の目的

- ① JSL 漢字学習研究会誌は、研究会の活動を記録すること。
- ② 第二言語あるいは外国語としての漢字学習・教育にかかわる研究について投稿された論文を掲載すること。

2. 倫理方針

当研究会の運営委員会内に会誌担当を置き、会誌発行にかかる手続き全般（募集から発行まで）を担います。連絡先は<kaishi@jsl-kanji.com>です。

本誌に原稿を投稿する前に、著者は本誌の投稿規程を読み、遵守していることを確認しなければなりません。運営委員会（会誌担当）がこれらの方針に準拠していないと判断した原稿に対し、本誌は却下する権利を保持します。

本誌へ投稿される原稿は、いかなる言語においてもその内容が未発表・未発行の内容であり、本誌以外の媒体において出版が検討されていないものに限りません。また、プレプリントサーバーに掲載されたことのある原稿は受け付けられません。ただし、当研究会で講演・口頭発表・ポスター発表されたものについては、同内容であっても投稿を認めます。

実践報告の場合は、投稿前に、あらかじめ、実践現場の関係者から公表についての許諾を得ておいてください。また、本文中に引用したものについて（教材、写真、イラストなども含む）、使用許諾が必要なものは、あらかじめ許諾を得てください。許諾が得られていない場合は投稿できません。必要に応じて詳細を論文に記載してください。「著作物使用許諾申請書」のひな形が投稿規程の「13. 資料」にありますので、それを必要に応じてご利用ください。

調査対象者の人権・プライバシー等に関わる内容が含まれる場合、倫理的に配慮したことを本文中に具体的に記述する必要があります。

著者は、セルフアーカイビング（グリーンオープンアクセス）として自身の論文をオンラインリポジトリに登録できます。当研究会は、本誌の公開後すぐに機関リポジトリまたは公開リポジトリに論文を著者が登録することを許容しています。ただし、本誌が公開した PDF ファイルを用いてください。

なお、執筆者が当該論文を他に転載する場合には、必ず事前に運営委員会（会誌担当）に文書で届け出てください。連絡先は<kaishi@jsl-kanji.com>です。

3. 投稿カテゴリー

JSL 漢字学習研究会誌の投稿カテゴリーには①投稿論文（査読あり・査読なし）と②要旨のみがあります。投稿する際に、応募フォーム内で希望するカテゴリーを選択してください。

表 1 投稿カテゴリー別の投稿規程内の主な参考項目

カテゴリー名	投稿規程内の主な参考項目
論文（査読あり）	4～13 節。ただし、「12. 3. 要旨のみの原稿構成」を除く。
論文（査読なし）	4～6 節、8～13 節。ただし、「12. 3. 要旨のみの原稿構成」を除く。
要旨のみ	4 節、5 節、8～11 節、12. 3 節、12. 4 節、13 節

4. 投稿資格

論文（査読あり・なし）を投稿するものはJSLKの会員でなければなりません。ただし、要旨のみの場合はその限りではありません。会員登録についてホームページ<<https://jsl-kanji.com/>>を参照してください。

5. 投稿論文

JSL 漢字学習研究会誌では、①当研究会での発表にもとづく論文（査読あり・査読なし）、および、②本誌に投稿された論文（査読あり・査読なし）を、投稿論文と呼びます。

6. 論文投稿料

JSL 漢字学習研究会誌は、購読料を請求しません。その代わりに、出版にかかる費用は論文投稿料で賄います。したがって、投稿論文（査読あり・なし）に対して、掲載の可否にかかわらず、論文投稿料として5,000円の支払いが発生します。別途、論文掲載料の支払いが求められることはありません。研究会の記録としての要旨のみの掲載については、投稿料は発生しません。

6.1. 銀行口座

- ① ゆうちょ銀行の口座からお振込みの場合
金融機関名：ゆうちょ銀行
支店名：二一八
記号：1 2 1 6 0
口座番号：1 1 3 4 4 4 0 1
名義（漢字）：J S L 漢字学習研究会
名義（カタカナ）：ジェイエスエルカンジガクシュウケンキュウカイ
- ② ゆうちょ銀行以外の口座からお振込みの場合
金融機関名：ゆうちょ銀行
支店名：二一八（ニイチハチ）
口座番号：1 1 3 4 4 4 0
名義（漢字）：J S L 漢字学習研究会
名義（カタカナ）：ジェイエスエルカンジガクシュウケンキュウカイ
- ③ ゆうちょ銀行のATMからゆうちょ銀行の口座あて送金する場合
 - a. 店名（番号）を選んで入力すると、
口座番号は7ケタの入力（最初の7つの数字）
 - b. 記号を選んで入力すると、口座番号は8ケタの入力
注）7桁しか入力できない場合は、1 1 3 4 4 4 0
8桁入力できる場合は1 1 3 4 4 4 0 1

7. 投稿論文（査読あり）の査読プロセス

7.1. 査読基準

投稿論文（査読あり）について、本誌はシングルアノニマイズド方式（single anonymized type）を採用します。査読は、3名の査読者によって審査が行われます。査読者は、専門知識、査読者としての経験などを考慮して選出されます。投稿にかかわるスケジュールは投稿規程の「表3 投稿スケジュール」を参照してください。

本誌の方針として、査読者のコメントは原文のまま著者に送信します。ただし、査読者のコメントに不快な言葉や機密情報、査読結果に関することなどが含まれている場合、本誌は査読者に相談することなく査読者のコメントを編集する権利を有します。

投稿論文（査読あり）の採用要件は以下のとおりです。

- ① 本誌の取り扱う領域内の内容であること
- ② 新規性および独自性があること
- ③ 情報の有用性があること
- ④ 本誌の読者の関心が高い事項であること
- ⑤ 記述が明確であること

原稿が本誌の採用要件を満たしていない場合、運営委員会（会誌担当）が却下の判断をすることがあります。

7.2. 査読における守秘義務

本誌は未発表原稿の機密性を保持します。また、運営委員会および査読者は以下を遵守します。

- ① 査読者からの合理的な要求がない限り、査読者の身元を開示しない。
- ② 原稿やその内容について、他者（例えばポストドクや博士課程の学生など）を査読に関与させたり、原稿や査読に直接関与していない人と議論したりしない。
- ③ 原稿のデータや情報を自らの研究や出版物に利用しない。
- ④ 自分自身や他の人の利益のため、あるいは個人や組織に不利益を与えるために、査読の過程で得られた情報を利用しない。
- ⑤ 原稿の内容を AI ツールや公共のプラットフォームに共有またはアップロードしない。
- ⑥ 査読者は、査読結果に関わらず、会誌発行後（7月公開予定）に、査読した論文およびそれにかかわる資料等はすべて破棄する。

7.3. 査読における査読者の利益相反

運営委員会（会誌担当）は査読を依頼する際に利益相反の回避に努めますが、公平性に偏りが生じる可能性を必ずしも特定できるとは限りません。利益相反には、研究やその出版物に金銭的な利害関係がある、以前のバージョンの原稿を見たことがある、等が含まれます。本誌の査読者は、原稿を取り扱う際に利益相反を申告してください。利益相反を申告した査読者は、当該原稿の担当を外れ、新たな査読者と交代します。

7.4. 運営委員会（会誌担当）が論文（査読あり）を投稿する場合

運営委員会（会誌担当）のメンバーは自身の論文の査読プロセスから外されます。運営委員会（会誌担当）のメンバーが執筆した原稿は、他の原稿と同様のプロセスで査読と編集上の決定が行われます。

8. 異議申し立て

編集上の判断に誤りがあると思われる場合、著者は研究会代表に異議を申し立てることができます。異議申し立ては、著者が査読者や運営委員会（会誌担当）の誤解や誤りの詳細な証拠を提示した場合にのみ検討されます。異議申し立ては研究会代表が慎重に検討し、最終決定を行います。

異議申し立ては以下のフォームから申請してください。

<<https://forms.gle/ezyrRxvLFVj3WgwL9>>

9. エラーと撤回

本誌は、発行された論文の公正性を維持することの重要性を認識しています。発行された論文に誤りがあった場合、エラーの発行により訂正します。エラーには、出版物の科学的な公正性、著者の評判、ジャーナル自体に重大な影響を与える誤りを記述します。

発行された論文の訂正を希望する著者は、運営委員会（会誌担当）に、誤りの詳細と変更後の内容を連絡してください。共著者の間で訂正をめぐって意見が一致しない場合、運営委員会（会誌担当）と筆頭者とで相談のうえ、結論を出すことにします。

発行された論文が無効または信頼できない結果や結論を含んでいたり、他の場所で発表されていたり、行動規範（研究倫理または出版倫理）を侵害している場合、運営委員会（会誌担当）の権限で撤回を行います。論文の撤回を要求する個人は運営委員会（会誌担当）まで連絡してください。

10. 倫理違反の可能性がある場合の対応

本誌は、倫理違反の申し立てがあった場合には、自誌の方針および出版倫理委員会（COPE）のガイドラインに従って対応します。


11. 著作権、オープンアクセス

本誌は完全オープンアクセスであり、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス（以下、CCライセンス）を使用しています。著者（共著者を含む）は、本誌に掲載される自身の論文等に関して著作権を有します。著者は当研究会に対し、自身の論文に付したCCライセンスのもと、本誌への論文掲載を依頼したものとみなします。

CCライセンスの詳細は以下の通りです。著者がCCライセンスを1つ選んでください。CCライセンスについて、詳しくは<<https://creativecommons.jp/licenses/>>を参照してください。

表2 CCライセンス

<p>① [CC BY 4.0]</p> 	<p>本誌に掲載されている記事はオープンアクセスである。著者はクリエイティブ・コモンズライセンスCC BY 4.0 (Attribution 4.0 International) を選択することとする。このライセンスは、適切なクレジットを表示する限りにおいて、営利/非営利を問わず論文の共有、翻案等の利用を許可するものである。</p>
<p>② [CC BY-SA 4.0]</p> 	<p>本誌に掲載されている記事はオープンアクセスである。著者はクリエイティブ・コモンズ・ライセンスCC BY-SA 4.0 (Attribution-ShareAlike 4.0 International) を選択することとする。このライセンスは、適切なクレジットを表示し、派生作品を元論文と同じライセンスで流通させる限りにおいて、営利/非営利を問わず、論文の共有、翻案等の利用を許可するものである。</p>
<p>③ [CC BY-NC-SA 4.0]</p> 	<p>本誌に掲載されている記事はオープンアクセスである。著者はクリエイティブ・コモンズ・ライセンスCC BY-NC-SA 4.0 (Attribution-NonCommercial-ShareAlike 4.0 International) を選択することとする。このライセンスは、適切なクレジットを表示し、かつ非営利目的に限り、また派生作品を元記事と同じライセンスで流通させる限りにおいて、論文の共有、翻案等の利用を許可するものである。</p>
<p>④ [CC BY-NC 4.0]</p> 	<p>本誌に掲載されている記事はオープンアクセスである。著者はクリエイティブ・コモンズ・ライセンスCC BY-NC 4.0 (Attribution-NonCommercial 4.0 International) を選択することとする。このライセンスは、適切なクレジットを表示し、かつ非営利目的に限り、論文の共有、翻案等の利用を許可するものである。</p>
<p>⑤ [CC BY-ND 4.0]</p> 	<p>本誌に掲載されている記事はオープンアクセスである。著者はクリエイティブ・コモンズ・ライセンスCC BY-NC-ND 4.0 (Attribution-NoDerivatives 4.0 International) を選択することとする。このライセンスでは、適切なクレジットを表示し、論文を改変しない限りにおいて、営利/非営利を問わず、論文の共有、翻案等の利用を許可するものである。</p>

<p>⑥ [CC BY-NC-ND 4.0]</p> 	<p>本誌に掲載されている記事はオープンアクセスである。著者はクリエイティブ・コモンズ・ライセンス CC BY-NC-ND 4.0 (Attribution-NonCommercialNoDerivatives 4.0 International) を選択することとする。このライセンスでは、適切なクレジットを表示し、かつ非営利目的に限り、また論文を改変しない限りにおいて、論文の共有、翻案等の利用を許可するものである。</p>
--	--

12. 原稿の投稿と執筆要領

原稿は以下の要領で作成してください。

12.1. 原稿形式

- ① 原稿は Microsoft Word で作成してください。
- ② 使用言語は原則日本語とします。
- ③ ページ設定は A4 サイズで、余白は、上下 25mm、左右 25mm とします。「文字数と行数を指定する」を選択し、43 文字、37 行に設定してください。
投稿論文の場合も、要旨の場合も、フォーマットを <<https://x.gd/Dm7Y8>> からダウンロードし、そのファイルに上書きしてください。
- ④ 投稿論文の枚数（ページ数）は 10～20 枚とします。要旨のみの場合は、1 枚とします。
- ⑤ ヘッダーとフッター、CC ライセンスの項目には何も入力しないでください。

12.2. 投稿論文の原稿構成

査読の有無にかかわらず、投稿論文の原稿は下記の要領で執筆してください。

- ① **タイトル**は、14pt MS ゴシックで入力し、センタリングとします。
- ② **サブタイトル**は、全角ダッシュで挟んだうえ、12pt MS ゴシックで入力し、センタリングとします。サブタイトルの前後に半角スペースを入れてください。
例：「 — サブタイトル — 」
- ③ **執筆者氏名**は、12pt MS 明朝で入力し、センタリングとします。漢字表記を原則とし、氏名の間に半角スペースを入れます。また姓名の順とします。しかしながら、場合によって、アルファベットやカタカナも許容とします。執筆者が複数の場合は、主たる執筆者を筆頭に、それぞれの名前間に「、」を入れます。
- ④ **所属**は、11pt MS 明朝で入力し、センタリングとします。
- ⑤ **要旨**は、11pt MS 明朝で 300 字以内で入力します。ただし、セクション名「要旨」は 11pt MS ゴシックで入力し、センタリングとします。セクション名とは、章・節のタイトル（名前）のことを指します。
- ⑥ **キーワード**は 5 語以内とします。11pt MS 明朝で入力し、全角「、」で区切ります。ただしセクション名「キーワード」は 11pt MS ゴシックで入力します。
- ⑦ **セクション名**は、11pt MS ゴシックで入力します。また、セクション名の最初に章や節の番号を付けることができます。その場合、半角数字・半角ドット・半角スペースの順に入力します。
例：「3. 調査概要」「3.1. 調査目的」「3.2. 調査対象者」など
- ⑧ **本文**は、11pt MS 明朝体で入力します。句読点は、「、」「。」とします。なお、規格外のフォントを使用した場合は、編集の都合上、蛍光ペン等でハイライトをつけてください。
- ⑨ **図表**がある場合は、キャプションを 10pt MS ゴシックで図表の中央に入力し、通し番号をつけてください。図の場合は図の下に、表の場合は表の上にキャプションをつけてください。
- ⑩ 必要であれば、**注**を付けることができます。注は、本文と参考文献の間に、9pt MS 明朝で入力します。ただしセクション名「注」は 10pt MS ゴシックで入力します。各項

目の最初に注の番号を付けることができます。その場合、半角数字・半角小カッコ・半角スペースの順に入力します。

例：「1) oo とは、xx のことである。」「2) zz によると、yy には xx の特徴がある。」

なお、本文中に付ける注の番号は、注を付ける語句または文の最後に、半角数字・半角小カッコを上付きにして付けてください。

例：○○¹⁾

⑪ **参考文献**：セクション名「参考文献」は10pt MS ゴシックで入力します。

- a. **参考文献**は、日本語・アルファベット言語・その他の言語の順に記載します。
- b. **日本語の参考文献**は、9pt MS 明朝で入力し、執筆者名のあいうえお順に並べます。

c. **日本語の雑誌論文**の場合、次の順に記載します。

執筆者名 (年)「論文タイトル」『雑誌名』号数、ページ、出版社(者)名

例：山田太郎 (2002)「漢字の教科書作成について」『JSL 漢字学習研究会』3、pp. 5-6、JSL 漢字学習研究会

注：数字は半角、記号は全角とします。ただしページ数に用いる「pp.」「-(ハイフン)」は半角とします。

d. **日本語の書籍**の場合、次の順に記載します。

著者名 (年)『書籍名』出版社(者)名

例：木村花子 (2003)『漢字がおもしろい』pp. 13-25、漢字研究会出版

注：数字は半角、記号は全角とします。

e. **アルファベット言語の参考文献**も、9pt MS 明朝で入力し、執筆者名のアルファベット順に並べます。

f. **アルファベット言語の雑誌論文**の場合、次の順に記載します。

執筆者名 (年)論文タイトル. 雑誌名. 号数, ページ, 出版社(者)名.

例：Saito Takuya (2005) Writing kanji. *JSLK Journal*. 3, pp. 55-56, JSLK Research Group.

注：括弧は全角、それ以外は半角英数字を用います。論文タイトル、雑誌名のあとに、半角ピリオドと半角スペースを入れます。号数のあとに半角カンマ、半角スペース、pp のあとに、半角ピリオド、ページ数のあとに、半角カンマ、半角スペースを入れます。出版社(者)名のあとに、半角ピリオドを入れます。書籍名は斜体にします。

g. **アルファベット言語の書籍**の場合、次の順に記載します。

著者名 (年) 書籍名. 出版社(者)名.

例：Suzuki Yoko (2006) *Introduction to kanji*. JSLK Publisher.

注：括弧は全角、それ以外は半角英数字を用います。書籍名のあとに、半角ピリオドと半角スペースを入れます。出版社(者)名のあとに、半角ピリオドを入れます。書籍名は斜体にします。

h. **日本語・アルファベット言語以外**の場合も、b-g を参考に記述してください。

i. **ウェブサイトからの情報**を参考文献に入れる場合は、次の順に記載します。

執筆者名 (年)「タイトル」URL (最終確認年月日現在)

例：漢字学習研究会 (2011)「研究会誌について」<https://jsl-kanji.com/aboutus/> (2024年11月12日現在)

⑫ 上記の規定にないことがらについては、執筆者の裁量に任せます。しかしながら、他の原稿との統一性のために、事務局において執筆者の許可なく修正することもあります。

⑬ **執筆者氏名の読み方**は、日本語読みのものはひらがな、その他はカタカナとします。11pt MS 明朝で入力し、参考文献の下に置きます。氏名の中に全角スペースを入れます。**連絡先**は、メールアドレスを11pt MS 明朝で入力し、右揃えで執筆者氏名の読み方の右に置きます。執筆者氏名の読み方と連絡先はそれぞれ全角カッコで囲みます。

連絡先を公開したくない場合は、非公開とし書かなくても結構です。事務局に問い合わせがあった場合、その問い合わせ内容を転送するようにしますが、迅速に対応できない場合があります。共同執筆の場合は、第一執筆者の連絡先を入力してください。
例：「(やまだ たろう、きむら はなこ) (taroyamada@hotmail.xx.zz)」

- ⑭ 次の項目間に1行空けます。例は以下の通りです。
- a. サブタイトルと執筆者氏名の間
 - b. 所属と要旨の間
 - c. 要旨とキーワードの間
 - d. キーワードと本文の間
 - e. 本文と注の間
 - f. 注と参考文献の間
 - g. 参考文献と執筆者氏名の読み方の間
 - h. 執筆者氏名の読み方とCCライセンスの間
- ⑮ 原稿は応募フォームから提出していただきます(11.4節参照)。そのさい、必要事項を入力し、CCライセンスの選択も行ってください。CCライセンスはこの投稿規程の「表2 CCライセンス」に記載されている6種類の中から選んでください。

12.3. 要旨のみの原稿構成

要旨のみの場合は、下記の要領で執筆してください。

- ① **タイトル**は、14pt MS ゴシックで入力し、センタリングとします。
- ② **サブタイトル**は、全角ダッシュで挟んだうえ、12pt MS ゴシックで入力し、センタリングとします。サブタイトルの前後に半角スペースを入れてください。
例：「 — サブタイトル — 」
- ③ **執筆者氏名**は、12pt MS 明朝で入力し、センタリングとします。漢字表記を原則とし、氏名の間半角スペースを入れます。また姓名の順とします。しかしながら、場合によって、アルファベットやカタカナも許容とします。執筆者が複数の場合は、主たる執筆者を筆頭に、それぞれの名前間に「、」を入れます。
- ④ **所属**は、11pt MS 明朝で入力し、センタリングとします。
- ⑤ **要旨**は、11pt MS 明朝で400～500字以内で入力します。ただし、セクション名「要旨」は11pt MS ゴシックで入力し、センタリングとします。セクション名とは、章・節のタイトル(名前)のことを指します。
- ⑥ **キーワード**は5語以内とします。11pt MS 明朝で入力し、全角「、」で区切ります。ただしセクション名「キーワード」は11pt MS ゴシックで入力します。
- ⑦ **執筆者氏名の読み方**は、日本語読みのはひらがな、その他はカタカナとします。11pt MS 明朝で入力し、参考文献の下に置きます。氏名間に全角スペースを入れます。**連絡先**は、メールアドレスを11pt MS 明朝で入力し、右揃えで執筆者氏名の読み方の右に置きます。執筆者氏名の読み方と連絡先はそれぞれ全角カッコで囲みます。連絡先を公開したくない場合は、非公開とし書かなくても結構です。事務局に問い合わせがあった場合、その問い合わせ内容を転送するようにしますが、迅速に対応できない場合があります。共同執筆の場合は、第一執筆者の連絡先を入力してください。
例：「(やまだ たろう、きむら はなこ) (taroyamada@hotmail.xx.zz)」
- ⑧ 次の項目間に1行空けます。例は以下の通りです。
 - a. サブタイトルと執筆者氏名の間
 - b. 所属と要旨の間
 - c. 要旨とキーワードの間
 - d. キーワードと執筆者氏名の読み方の間
 - e. 執筆者氏名の読み方とCCライセンスの間
- ⑨ 原稿は応募フォームから提出していただきます(12.4節参照)。そのさい、必要事項を入力し、CCライセンスの選択も行ってください。CCライセンスはこの投稿規程の

「表 2 CC ライセンス」に記載されている 6 種類の中から選んでください。

12.4. 原稿提出

- ① 次のフォームから原稿の Word ファイルと PDF ファイルを提出してください。
 - ア) 論文 (査読あり) <<https://forms.gle/JitDBp3io9DH72MB9>>
 - イ) 論文 (査読なし) <<https://forms.gle/RVyAq2xddnpAA1uHA>>
 - ウ) 要旨のみ <<https://forms.gle/UErzenkG9joTn4Um7>>
- ② 原則として、内容の校正は事務局ではいたしません。書式で執筆要領に合わないところのある原稿は、執筆者に訂正をお願いするか、事務局で訂正させていただくことがあります。
- ③ 日本語が母語でない執筆者のかたは、執筆者の責任でネイティブ・チェックをしてください。日本語が母語の場合でも、第三者にチェックしてもらうことをお勧めします。学生の方は指導教官の確認のうえ、提出することをお勧めします。
- ④ 調査対象者の人権・プライバシー等に関わる内容が含まれる場合、倫理的に配慮したことを本文中に具体的に記述する必要があります。
- ⑤ 投稿から発行 (公開) までのスケジュールは以下のとおりです。

表 3 投稿スケジュール

	査読あり	査読なし	要旨のみ
投稿料の納入	2 月末	2 月末	なし
論文 (原稿) の提出	2 月末	2 月末	2 月末
査読	3 月末	—	—
査読会議	3 月末	—	—
査読結果の通知	3 月末	—	—
運営委員会 (会誌担当) による原稿確認	—	3 月末	3 月中
修正原稿の提出 1	4 月末	5 月末	3 月中
査読 2	5 月末		—
運営委員会 (会誌担当) による原稿確認	6 月上旬	6 月上旬	3 月末
修正原稿の提出 2	6 月末	6 月末	—
運営委員会 (会誌担当) による編集	7 月半ば	7 月半ば	7 月半ば
発行 (公開)	7 月末		

13. 問い合わせ先

JSL 漢字学習研究会運営委員会 (会誌担当) kaishi@jsl-kanji.com

14. 資料

xxxx年 xx月 xx日

<出版社名・発行元名など> 様

著作物使用許諾申請書

このたび、『JSL 漢字学習研究会会誌』第●号に下記論文を掲載するにあたり、著作物の一部を改変したものを使用させていただきたく、著作権の許諾を申請いたします。なにとぞご許可くださいますよう、お願い申し上げます。

記

- 1 引用したい著作物名 <書籍名・論文名など>
- 2 引用したい著作物の著者・作者名 <著者名など>
- 3 引用の状況 別紙参照 (①出典ページの写し、および、②論文執筆者が引用部分を改変して作成した箇所の写しの計2点を別添)
- 4 掲載予定誌名 『JSL 漢字学習研究会誌』第●号
- 5 論文タイトル <論文タイトル>
- 6 論文執筆者氏名 <論文執筆者名>
- 7 頒布方法 無償。JSL 漢字学習研究会・J-Stage ホームページ上に公開
- 8 申請者氏名及び連絡先 <ご自身のお名前・所属機関名・住所・電話番号・メールアドレス>
- 9 その他 御多忙な中、大変恐縮ですが、著作権許諾の可否につきまして、●月●日までに上記申請者あてに御連絡くださいますよう、お願い申し上げます。

別添資料

①出典ページの写し

④ 論文執筆者が引用部分を改変して作成した箇所の写し

以上

最終更新日：2025年1月10日